

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 日下 純子	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	北東アジア地域自治体との連携		
目的	(1) 対象	友好関係にある北東アジア地域自治体	
	(2) 意図	友好関係の強化	
事業概要	北東アジア地域に対する県民の理解と親善を深め、同地域とのネットワークの構築及び連携を図るため、同地域の自治体等との交流を推進する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	北東アジア地域自治体等との直接的な接触回数	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	回
	取組目標値								
	式・定義	相互派遣・受入回数 (姉妹・友好交流自治体及び北東アジア地域自治体連合)	実績値	12.0	13.0				
	達成率		100.0	108.4	-	-	-		
2	指標名		目標値						
	取組目標値								
	式・定義		実績値					%	
	達成率		-	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	11,766	11,233
うち一般財源 (千円)	11,766	11,233

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

韓国・慶尚北道との交流中断は続いているが、中国・寧夏回族自治区及び吉林省、ロシア・沿海地方とは、20年以上に亘る姉妹・友好関係が深化しており、本県との相互派遣・受入による自治体間交流が安定的に継続している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<p>ロシア沿海地方との友好交流25周年記念として、本県及び沿海地方から官民の訪問団を相互に派遣、多彩な交流事業を開催し、今後も友好関係の継続、両地域間のさらなる相互理解と交流の促進を確認した。</p> <p>また、本県及び本県の交流自治体等が参加する北東アジア地域自治体連合(NEAR)については、交流自治体や他の会員自治体とのネットワーク構築や交流推進に取り組み、NEARのさらなる活性化や効果的な組織運営に寄与した。</p>

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>韓国・慶尚北道とは、交流が中断しており、日韓の相互理解、交流推進に影響を及ぼしている。</p> <p>中国・寧夏回族自治区及び吉林省、ロシア・沿海地方とは、5年毎の周年記念事業を軸に毎年の自治体間交流事業を推進しており、県による相互理解、交流推進事業は安定的に継続しているが、民間交流への展開は伸び悩んでいる。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>韓国とは、竹島の領有権問題が原因となっている。</p> <p>中国・ロシアとは、自治体間の友好関係を民間レベルでの交流に繋げていく仕組みの構築が不十分である。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>韓国とは、国(外交)レベルでの解決を図るべき領有権問題とは切り離し、官民の様々なチャネルを通じて、慶尚北道との関係改善に向けて地道に粘り強く取り組んでいく必要がある。</p> <p>中国・ロシアとは、自治体間のネットワークを活用して、民間レベルでの各国との相互理解、交流推進の機会づくりに、県として積極的に取り組む必要がある。</p>

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>韓国・慶尚北道との交流再開に向けて、当面は民間レベルでの日韓交流事業や相互理解を促進する取り組みへの支援を継続していくとともに、将来の日韓交流を担うリーダーの育成を図っていく。</p> <p>中国・寧夏回族自治区及び吉林省、ロシア・沿海地方についても、自治体間の友好関係は、本県の国際化推進の根幹であり、今後は民間レベルの相互理解、交流推進はもとより、経済(観光、貿易等)や教育・文化・スポーツ等の多彩な分野での交流へと発展するよう、あらゆる可能性を探っていく。</p>
--